


家族会の活動



FAMILY CARE
FOR A SAFE FUTURE

NPO法人 全国ギャンブル依存症家族の
会 小川 和美

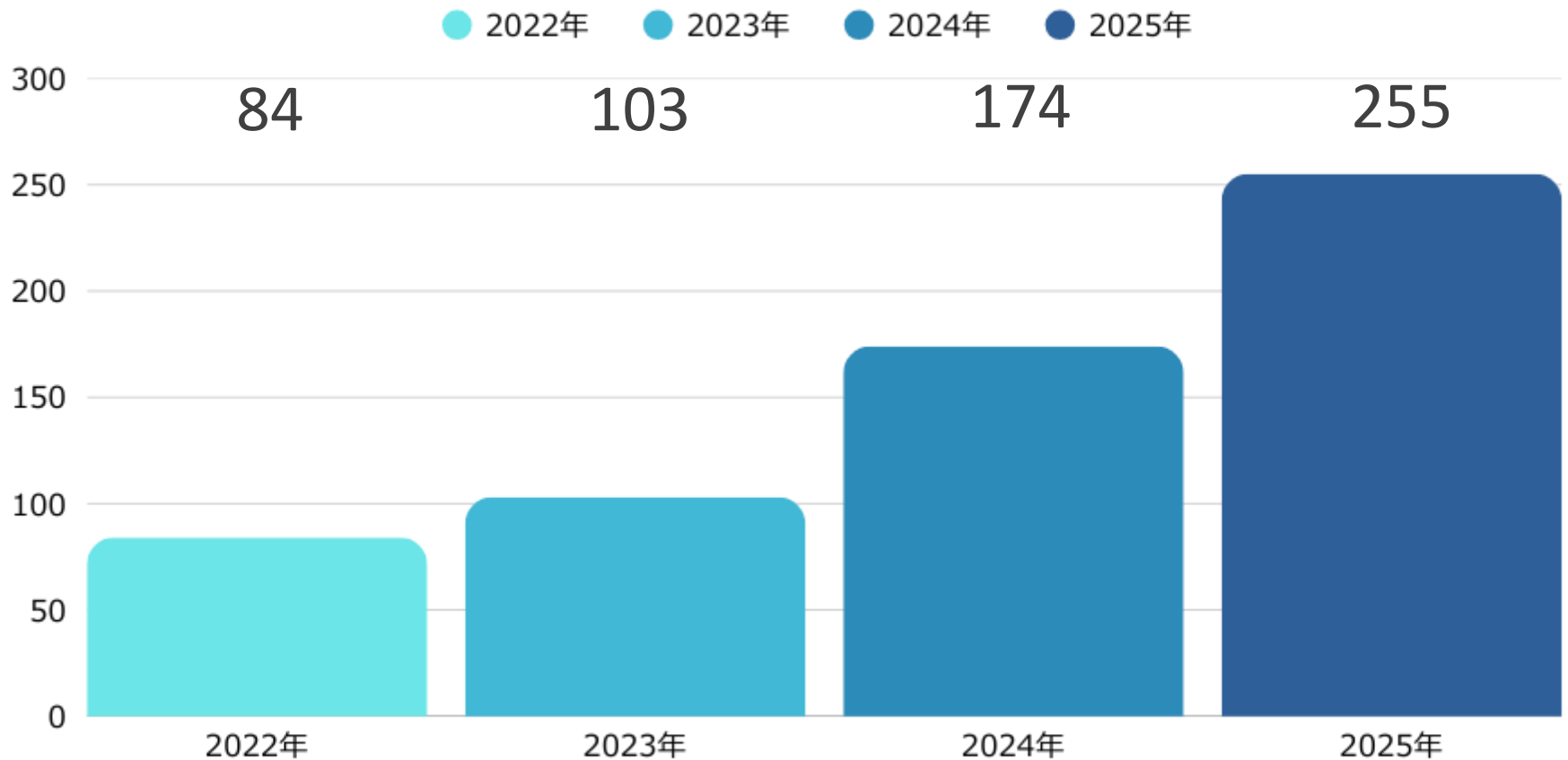


家族会の役割

- 【1】 ギャンブル依存症問題を抱える家族に対して相談にのり、必要な支援を継続的に行う
- 【2】 医療・行政・弁護士等にギャンブル依存症の理解を促し、連携を強化する
- 【3】 法律の運用がギャンブル依存症者とその家族に対し、そぐわない場合に、要望や提言を行う
- 【4】 啓発活動

1.相談・支援について

全国ギャンブル依存症家族の会 東京 初参加者数





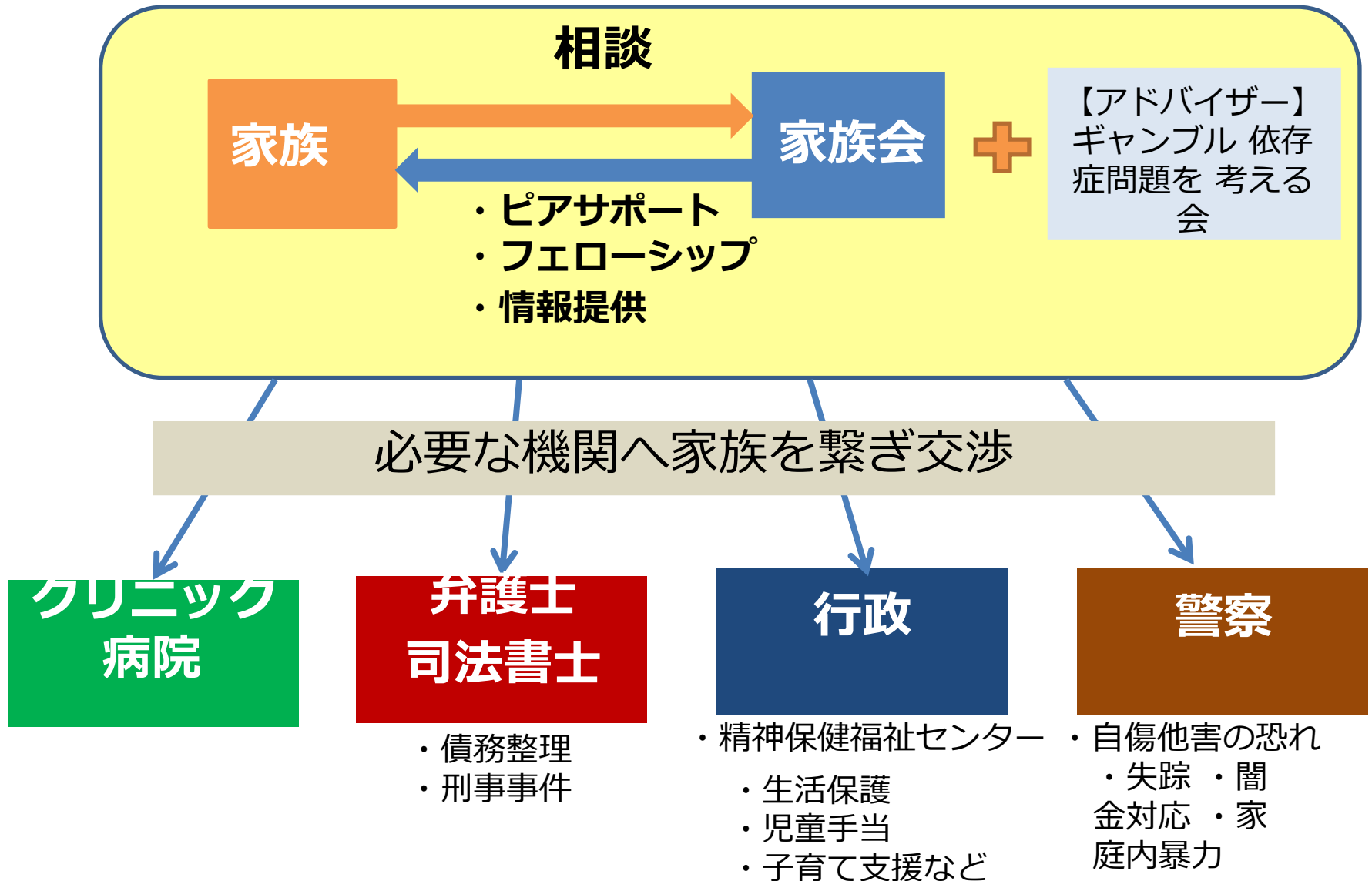
1.相談・支援について

Q) 家族会をどこから紹介されましたか？（複数回答有り）

インターネット（ホームページ、YouTube、Xなど）	724
テレビ・新聞・雑誌	36
病院・クリニックからの紹介	197
精神保健福祉センターからの紹介	64
家族・親族および友人・知人からの紹介	176
保健所からの紹介	21
回復施設からの紹介	4
「公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会」の相談電話・相談会からの紹介	35
他、行政からの紹介	50
その他	112

※2年前より行政からの紹介が増えている。さらに連携を強化していきたい

2.連携促進について



2. 連携促進について：事例1

- ・当事者は当時大学生の息子
- ・大学生のころギャンブルの問題が分かり母親が精神保健福祉センターで相談したところ、「息子さんはギャンブル依存症ではないと思う。」と言われて民間団体を紹介される。2回ほど通ったが、ギャンブルの問題が改善すると思えず通わなくなる
- ・息子はギャンブル依存症ではないかと思っていた母親が、自分で調べて久里浜病院を受診し、ギャンブル依存症の自助グループを勧められて母親が家族会につながる
- ・家族会、公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会の連携により、友人への借金で困っていた当事者の借金問題を解決する代わりに回復施設へ入寮する
- ・入寮後9か月で施設を飛び出す
- ・2年後、母親のもとにお金に困り、自殺をほのめかす連絡があり、家族会メンバー、考える会の支援のもと再度、山梨県の回復施設に入寮する
- ・昨年5月に回復施設を卒業し、そのまま山梨県にて働き、生計を立てている
- ・今年のお正月には母親に「あけましておめでとう」とあいさつの連絡あり。現在も回復を続けている

回復の遅れから当事者は大学を卒業することができなかった。

⇒**行政機関との連携強化が回復へのカギ**



2. 連携促進について：事例2

- ・当事者は夫。結婚してから一度も生活費を一切払わない。子ども2人有り
 - ・夫はギャンブルの問題以外にも薬物の問題あり
 - ・妻と子供が逃げられないように部屋に閉じ込める、包丁を持ち「みんなで死ぬか！」とおどして子供の前で包丁をまな板に突き刺すなど危険な行為があったため、別居。
 - ・家族会のメンバーの支援により、夫に知られないように他県から東京都に引っ越し
 - ・DV支援措置の対応を求めるため家族会メンバーが同行して警察署へ行くも、身体的DVがなければ支援措置、もしものときの110番登録はできないと突き放される
- 家族会メンバーが「幼い子供2人を抱えてもしもの時はどう責任を取ってくれるんですか！」と食い下がり、帰宅後に警察から「110番登録と支援措置をします」と電話あり
- ・夫との離婚について、家族会メンバーと相談しながら対応している

家族支援は当事者対応を学ぶだけではありません。

むしろ**環境調整や行政、支援者、役所などへの交渉こそが困難なのです。**

家族だけでは対応できません。

経験豊富な心強い仲間が必要です。

3.行政への要望や提言について

東京都

相談無料 / 事前申込制 (先着順)

ギャンブル等依存症特別相談会

こんなことで悩んでいませんか？

- ギャンブルがやめられない
- ギャンブルをしないと落ち着かず、イライラする
- 家族やパートナーがギャンブル依存症かもしれない
- 周囲に相談できず、どうしたらいいかわからない

ギャンブル等依存症は、適切な治療と支援により、回復できる病気です。都では、5月14日～20日のギャンブル等依存症問題啓発週間にあわせ、**対面相談会**を実施します。専門相談員と一緒に、回復への糸口を見つけませんか？

ご相談内容に合った専門の相談員が対応します 個人の秘密は守ります

ギャンブルのやめ方や治療方法など一般的な相談がしたい	➔	精神保健福祉センター
ギャンブル依存症から回復した当事者の方に相談したい	➔	(一社)東京グレイス・ロード 依存症地域活動支援センター-K-GAP
家族としてどう対応したらよいか相談したい	➔	(公社)ギャンブル依存症問題を考える会 NPO法人全国ギャンブル依存症家族の会

5/14水～15木
新宿会場 コンファレンス東京
● JR線新宿駅南口 徒歩3分

5/16金～18日
浜松町(大門) ビジョンセンターグランド会場 東京浜松町
● JR線浜松町駅 徒歩4分
● 都営地下鉄大門駅 徒歩1分

5/19月～20火
八王子会場 東京たま未来メッセ (東京都立多摩産業交流センター)
● JR線八王子駅 徒歩5分
● 京王線八王子駅 徒歩2分

相談時間 (各日) 10:00～ / 11:15～ / 13:15～ / 14:30～ / 15:45～
1組あたりのご相談時間は約1時間です。

対象 本人・ご家族の方など
会場の都合上、1組あたり2名までとさせていただきます。

申込方法 下記二次元コードから福祉局ホームページにアクセスし、専用フォームからお申し込みください。

← 詳細はこちら
※定員に達した時点で受付終了とさせていただきます。

メ 切 各開催日前日

昨年のギャンブル等依存症問題啓発週間に福祉局との連携により毎日相談会が開かれました。

この相談会の開催を決まった期間だけでなく切れ間なく開催することが必要と考えています。

次年度は毎月東京都主催での相談会の開催を希望します。

4. 啓発活動



スマートフォンの普及によりギャンブル依存症の若年化が問題となっています。

ギャンブル依存症という病気の正しい知識を早いうちから伝えていくことが大切だと感じていますが、民間団体の私たちの力だけでは教育現場全体に予防教育を徹底できない現実があります。

子どもたちをまもるため、都が主導して、高校卒業までにギャンブル依存症の予防教育を徹底してください。

ご清聴ありがとうございました



FAMILY CARE
FOR A SAFE FUTURE